

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	48	学 校 名	静岡県立藤枝北高等学校	校 長 名	鈴木 浩
------	----	-------	-------------	-------	------

1 スクール・ミッション

地域に密着した志太榛原地区で唯一の公立全日制総合学科高校として、地域や企業等と連携した体験的・実践的・探究的な学びを通して、多様な人たちと適切に関わり社会に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①社会とつながる力 ②コミュニケーション力 ③努力を続ける力 ④思考力・判断力・表現力 ⑤創造する力 ⑥協働する力	①「産業社会と人間」で自己の生き方在り方を深める。 ②共通性と多様性のバランスを図る科目選択による学び。 ③地域・企業等との連携も行う系統的体系的なキャリア教育の実践。 ④多様な探究的な学びの実践。	①基本的な生活習慣、基礎的な学力を有する生徒。 ②総合学科に興味を持ち、「自ら学ぶ」意欲を持つ生徒。 ③自ら進んで人と関わり、仲間と協働して学びたいという気持ちのある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 生徒の学ぶ意欲を引き出し、確かな基礎学力と思考力・判断力・表現力を育成する。
- イ キャリア教育の充実を図る。
- ウ 基本的な生活習慣を身に付け、高い規範意識をもった生徒を育成する。
- エ 総合学科教育を通じて、実学教育を実施する。
- オ 防災教育、安全教育、環境教育の充実を図る。
- カ 広報活動の充実を図り、地域社会との連携を深める。
- キ 学校事務の適正な執行と教育環境の充実を図る。
- ク 教職員の多忙化解消を推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学ぶ意欲を引き出し、基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成する。	・「分かる授業」「力がつく授業」を実践する。 ・主体的な学習態度を育成する。	・授業が分かると答える生徒の割合 85%以上 ・授業で力がついたと答える生徒の割合 85%以上 ・授業や学習に積極的に取り組んでいると答える生徒 85%以上	教務課 進路課 学年部 各教科
		・主体的・対話的で深い学びの実現にむけ、PDCAサイクルを活かした授業改善を図る。	・授業改善を目的とした教員研修の回数 年2回以上 ・全教員が研究授業を参観する回数 年1回以上 ・先生は「教え方」や「教材」に工夫をしていると答える生徒の割合 75%以上	研修情報課 各教科

様式第 1 号

		・朝読書と図書館利用の充実を図る。	・生徒の本の貸出冊数 年間 1400 冊以上 ・年間読書冊数 5 冊以上の生徒の割合 50%以上	図書課
イ	キャリア教育を充実させることにより、生徒一人一人が希望する進路の実現を図る。	・3年間を見通した進路学習を適切に実施する。 ・進路実現のため、学びの基礎診断等を活用し、基礎学力の定着を図る。 ・グローバル人材の育成を図る。 ・系列科目選択のためのガイダンス、仮登録、個別面談システムの充実を図る。 ・「産業社会と人間」の充実を図る。	・生徒の進路希望達成率 100% ・「藤北ドリカムノート」を活用し、自己の目標達成に向けて頑張っていると答える生徒の割合 60%以上 ・進路について考えていると答える生徒の割合 85%以上 ・「産業社会と人間」の時間が充実していると答える生徒の割合 70%以上	進路課 教務課
ウ	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚を図るとともに、心身の健康を維持・促進する。	・規律と礼儀を重んじる態度を育成する。 ・時間の管理やTPOに応じた言動、私物、公共物の適正な管理ができる生徒を育成する。 ・自彊祭など生徒が主体となる行事や活動を推進する。 ・部活動をとおして、向上心と社会性の涵養を図る。	・あいさつがしっかりできていると答える生徒の割合 90%以上 ・服装や身だしなみがしっかりできていると答える生徒の割合 90%以上 ・学校生活が充実していると答える生徒の割合 85%以上 ・部活動が充実していると答える生徒の割合 70%以上	生徒課 学年部
		・学校保健活動の充実を図ることにより、体調管理に対する意識の高い生徒を育成する。	・保健だよりの発行回数 年 8 回以上	保健課
		・生徒の心の安定を図る教育相談を充実させる。	・学校は悩みの相談にきちんと対応してくれていると答える生徒の割合 80%以上	生徒課 (教育相談)

様式第1号

エ	総合学科における魅力的な新しい実学教育を展開する。	・食農教育、ものづくり教育、商業教育等の充実を図る。 ・農業クラブ大会、ものづくり競技大会、各種検定試験等に積極的に挑戦する生徒を育成する。 ・（農業科・工業科・商業科を中心として）地域、大学等との連携により実践的・体験的な活動を実施する。 ・「総合的な探究の時間」を通して、探究的な学びを実践する。	・学校生活が充実していると答える生徒の割合 85%以上 ・資格取得や検定合格等にむけて意欲的に取り組んでいると答える生徒の割合 60%以上 ・外部人材を活用した授業等の回数 年 30 回以上 ・「総合的な探究の時間」が充実していると答える生徒の割合 60%以上	教務課 農業科 工業科 商業科
オ	防災教育、安全教育、環境教育の充実を図る。	・実践的、体験的な防災教育をととして、防災対応能力を高める。	・防災関連の学校行事を年 3 回以上実施する。	総務課
		・交通安全教育の充実を図る。	・交通安全講話等の受講 年 2 回以上 ・交通ルールやマナーを守って登下校することができるかと答える生徒の割合 85%以上	生徒課
		・校舎内外の美化を徹底することにより、快適な学習環境を保持する。	・掃除にきちんと取り組んでいると答える生徒の割合 90%以上	保健課
カ	広報活動の推進を図り、保護者・地域との連携を深める。	・学校ホームページ、北高通信等を利用した保護者、地域への広報活動を積極的に行う。	・ホームページ更新回数 週 3 回以上	研修情報課
		・一日体験入学、授業公開日の充実を図る。 ・PTA活動の充実を図る。	・一日体験入学参加・授業公開日におけるアンケートで「参考になった」と回答する生徒・保護者の割合 75%以上 ・PTA総会への保護者の出席率 30%以上	総務課
キ	学校事務の適正な執行を図る。	・事務の効率化を図る。 ・適正な学校経営予算の編成と執行に努める。	・仕事の効率化と業務の見直しを図っているまたは図ろうとしていると答える事務職員の割合 80%以上 ・学校経営予算の執行率 1 月末 80%以上	事務室

様式第 1 号

ク	教職員の多忙化解消を推進する。	・ペーパーレス化と C ラーニングの活用により積極的な業務改善を図る。 ・休暇取得促進に取り組む。 ・Google Classroom や C-ラーニングを活用し、業務の軽減を図る。	・ペーパーレス化と C ラーニングの活用により業務改善したと答えた教職員の割合が 70%以上 ・教職員の夏季休暇取得率 100% ・時間外在校時間が削減できたまたは、時間外在校時間はほとんど無いと答える教職員の割合 70%以上	管理職
---	-----------------	---	---	-----

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。